

報告書抄録

ふりがな	たかはしいたじき いち・に いせき							
書名	高橋板敷Ⅰ・Ⅱ遺跡							
副書名	今治新都市開発整備事業に伴う埋蔵文化財報告書							
巻次	第2集							
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第93集							
編集者名	櫛部 大作							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-8511 愛媛県今治市別宮町一丁目4番地1 tel. 0898-32-5200(代)							
発行年月日	西暦 2008年11月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
たかはしいたじき いせき 高橋板敷Ⅰ遺跡	いまばり し たかはし 今治市高橋 こう 甲1495-1	382027		34° 02′ 15″	134° 02′ 12″	20020627) 20020905	約1,000	新都市開発に伴う調査
たかはしいたじき に いせき 高橋板敷Ⅱ遺跡	いまばり し たかはし 今治市高橋 おつ 乙70～73ほか	382027		34° 02′ 17″	134° 02′ 11″	20050413) 20050628	約700	新都市開発に伴う調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
高橋板敷Ⅰ遺跡	生産遺跡	古代	鍛冶炉 掘立柱建物 柱穴	須恵器 円面硯 土師器 転用硯 赤色塗彩土師器 黒色土器 鉄滓				
高橋板敷Ⅱ遺跡		古代		須恵器 土師器				
要 約								
<p>高橋板敷Ⅰ遺跡において、古代(8～10世紀頃)の掘立柱建物1棟、鍛冶遺構2基、柱穴遺構18基が検出された。出土遺物は包含層を主体とするものではあるが、赤色塗彩土師器をはじめとして、墨書土器、須恵器を転用した硯、円面硯などから連想しても一般集落の様相は薄く、識字層の存在が裏づけされ、寺社もしくは官衛的な遺構の可能性が考えられる。</p> <p>また8世紀を下限とする遺構面からは2基の切り合った鍛冶炉が検出された。さらに還元焼結した炉床を有する鍛冶炉を中心に鍛冶施設に準じた遺構も確認された。この遺跡は検出された遺構や出土遺物などから8世紀を下限とし、10世紀頃まで存続していたと考えられる。</p> <p>さらに近年、周辺の遺跡でも古代の鍛冶炉が多く検出され、古代の製鉄炉も確認されたことから鉄生産と精錬工程が一貫して行われていた可能性が考えられる。</p>								